

## 中小企業診断士事例Ⅳ 論点整理・過去問ゼミの特徴

1. 日商簿記ですすめている学習方法。過去問の徹底活用  
横に解いて論点整理  
縦に解いて実践演習
2. 論点ゼミの特徴  
よりわかりやすくをテーマに

<例>営業キャッシュフローの計算に関して  
パターンで覚えると勘違いする  
P/Lから覚えよう

例えばこんな問題

毎年の営業キャッシュフローは下記の通りである  
当期末に 10,000 円の設備投資を計画している（定額法・残存価額 0）  
この投資で、翌年以降あらたな現金収入 10,000 円、現金支出 6,000 円が発生する。

毎年の営業キャッシュフローを求めなさい  
なお、法人税の実効税率は 40%である

売上高 10,000 (C I F)  
仕入高 6,000 (C O F)  
減価償却費 2,000  
法人税 800 (C O F)  
当期純利益 1,200

$$C I F - C O F = 3, 2 0 0$$

これを教科書的にパターンにすると

①税引後利益 + 減価償却費 = 1,200 + 2,000 = 3,200

でも、この時  $1,200 + 2,000 \times 0.4 = 2,000$  としてしまうケースが案外多い

②税引後営業利益 + タックスシールド =  $4,000 \times 0.6 + 2,000 \times 0.4 = 3,200$

これも、 $4,000 \times 0.6 + 2,000 = 4,400$  としてしまうケースがある

これはパターン暗記の弊害です。簡単な P/L をつくれば絶対に間違える事はありません。CMC の論点ゼミでは、より簡単に解答を導く手法を説明します。

### 3. 電卓活用方法も解説します

例えばこんな問題

下記の各年度の営業CFを現在価値に直し、総合計を示しなさい。  
なお、資本コストは5%である。小数点以下は切捨てなさい。

	20年	21年	22年	23年	24年
営業CF	50,000	70,000	60,000	80,000	50,000
現価係数	0.7835	0.8227	0.8638	0.9070	0.9523

私は2008年受験の頃は、ひとつひとつ計算し、書きとめ、再度合計していました。  
事例IVでAが取れなかったのは当然です

日商1級の学習を開始した後は、こんな電卓のたたき方です  
(実際の打刻なのでカンマなどは入れていません)

CA (AllClear)

$$50000 \times 0.9523 =$$

$$80000 \times 0.9070 =$$

$$60000 \times 0.8638 =$$

$$70000 \times 0.8227 =$$

$$50000 \times 0.7835 =$$

ここでGTを押してください

268,767 と出ますね

これだけで全然時間がかわってきます

他にも電卓活用テクニックはあります。それはゼミの中で・・・